

栗田女娘子、大伴宿禰家持、に贈る歌二首

七〇七番

思おもひ遣やる すべの知しらねば かたもひの 底そこにそ
我あれは 恋こひなりにける

七〇八番

またも逢あはむ よしもあらぬか 白しろたへの 我わが
衣手ころもてに 齋いはひとどめむ

豊前国の娘子大宅女の歌一首

七〇九番

夕闇ゆふやみは 道みちたづたづし 月つき待ちて いませ我わが背せ子こ
その間まにも見みむ